投 稿 規 定（2026.4.15 改定，2026.4.15 更新）

0.『作業療法』について

『作業療法』は，作業療法の学術的発展を目的として，一般社団法人日本作業療法士協会が発行する和文のオープンアクセスジャーナルです．オンラインおよび冊子体で年 6 回発行されています．オンラインの記事は，出版と同時に誰もが閲覧できます．

1．投稿内容について

作業療法の学術的発展に寄与する論文として，「総説」，「原著論文」，「実践報告」，「短報」（以下，論文）の投稿を随時受け付けます．ただし，他誌に発表された論文，または投稿中の論文はお断りします．また事前に，日本作業療法士協会ホームページの「査読に関してのチェックリスト」と投稿内容を確認してください．

2．倫理的事項について

著者は研究倫理教育を受けている必要があります．また，著作権や研究対象者の人権尊重に努めてください（文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を参照）．論文に関連する企業や営利団体等との利益相反（COI）の有無について（ある場合は，その内容も）記載してください（厚生労働省の「研究に関する指針について」を参照）．また，助成金（資金援助）を受けた場合は，それが特定できる番号を登録してください．

3．著者について

筆頭著者は本会の会員で当該年度（投稿時から掲載時）の会費を納めている方に限ります．ただし，他職種の方が投稿を希望される場合は，【主要な研究結果とその重要性および作業療法の学術的発展に寄与する理由】を記した「他職種筆頭著者申請書」を提出して受付可否の判断を仰いでください．共著者は本会会員でなくても構いませんが，作業療法士の場合は本会会員であること，当該年度（投稿時から掲載時）の会費を納めていることを条件とします．なお，著者資格基準を明確にし，基準に準じているかを確認するため，「著者貢献申請書」を提出してください．申請については，下記の 7-3）を参照してください．

4．責任著者について

責任著者が投稿してください．筆頭著者と責任著者が異なる場合は，入力する著者名の順番を，筆頭著者，責任著者にしてください．なお，責任著者は，投稿後および掲載後に論文の責任者として問い合わせを受ける著者となります．

5．論文の種別と規定枚数について

1）総説：国内外の作業療法および関連する医療・保健・福祉の動向，政策，潮流など時宜に適ったテーマに関する総括的解説．作業療法および作業療法関連科学の特定のテーマについて，過去の研究を概観し，将来的展望を視野においた組織的な総括．論文の長さは，本文と文献のみ（図・表なし）の場合，A4 サイズ（1 枚は 40 字×40 行 1,600 字）10 枚（16,000 字には改行等による空白も含む）とします．図・表は 10 点以内とし，図・表がある時は大きさにより，本文と文献の文字数を減らしてください（最大サイズの図 1 枚（2,000 字分）と表 1 枚（2,000 字分）がある時，本文と文献は 7.5 枚（12,000 字）となる）．図・表の基準は執筆要領 12 を参照してください．

総説（レビュー）の種類例：システマティックレビューでは，多くの関連研究を偏りなく分析的にレビューするために，系統的で明確な方法を用いて焦点化された疑問を明らかにする．スコーピングレビューでは，幅広い文献を要約して知識体系をマッピングし，既存のエビデンスにおけるギャップや不足を特定する．

2）原著論文：実験，調査，臨床経験，理論研究などから得られた独創的で斬新な知見を含む結果の考察および記述．論文の長さ，図・表は 1）に準じます（図・表がある時は大きさにより，本文と文献の文字数を減らしてください）．

3）実践報告：特色ある作業療法実践（事例報告を含む）に焦点を当てた報告．治療手段としての活動，道具（自助具，遊具，生活用具），情報，アイデアの紹介．論文の長さは，本文と文献のみ（図・表なし）の場合，A4 サイズ（1 枚は 40 字×40 行 1,600 字）8 枚（12,800 字には改行等による空白も含む）とします．図・表は 1）に準じます（図・表がある時は大きさにより，本文と文献の文字数を減らしてください）．

4）短報：独創性のある所見，見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告．後に詳しい「原著論文」として書くことが期待されます．論文の長さは，本文と文献のみ（図・表なし）の場合，A4 サイズ（40 字×40 行）3 枚（4,800 字）とし，図・表は 2 点以内としてください（図・表がある時は大きさにより，本文と文献の文字数を減らしてください）．

6．執筆について　「執筆要領」に従ってください．

7．投稿について　論文投稿システム（Editorial Manager）から投稿してください．

https://www2.cloud.editorialmanager.com/jjotr/default2.aspx

1）投稿の準備：Editorial Manager でユーザー登録をしてください．

2）投稿の方法：以下のファイルを Editorial Manager へアップロードしてください．

①本文と文献，②図・表，③カバーレター，④作業療法士の著者全員の会員証データ，⑤筆頭著者の研究倫理教育修了証，⑥「出版権の設定に係る同意書」，⑦著者貢献申請書．また，次の事項を登録してください（コピー＆ペーストは可能）．論文種別，標題（日本語・英語），著者情報（所属機関名，全員のメールアドレスなど），分野，キーワード（日本語・

Presented by Medical*Online

英語），抄録（要旨，日本語・英語）．詳細は執筆要領 3 を参照してください．

3）投稿についての各種承諾・申請事項：Editorial Manager 内で同意していただきます．共著者に関しては，責任著者が投稿時に登録を行い，全ての共著者自身に「共著者確認」をしていただきます（各共著者に確認メールを通知します）．また，「投稿者向けガイドライン」を参照の上「著者貢献申請書」をダウンロードし，必要事項を記入後，Editorial Manager へアップロードしてください（必須）．申請が必要な場合は，日本作業療法士協会ホームページより，「他職種筆頭著者申請書」「掲載に係る申請書」を同様にアップロードしてください．

8. 再投稿について

修正後再査読の論文は **3 ヵ月（90 日）以内**に Editorial Manager より再投稿してください．

9. 採否について

論文の採否は学術誌編集委員会において決定します．場合により，加筆，修正をお願いすることがあります．また編集委員会の責任において，多少の字句の訂正をすることがあります．

10. プレプリント（査読前論文）

本誌では，研究の普及を促進するために，投稿前または投稿と並行して，国立研究開発法人科学技術振興機構が運営するプレプリントサーバー Jxiv（ジェイカイブ）など，コミュニティに認知されたプレプリントサーバーへ著者が原稿を投稿することを認めています．この方針は，著者が作成した初稿にのみ適用されます．査読を経て一部でも改訂された原稿，著者最終稿（査読および改訂をへて出版が確定した原稿），すでに公開済みの論文は，プレプリントサーバーに掲載してはいけません．また，論文が出版されたらすみやかに，プレプリントに出版社版へのリンクを含めてください（ランディングページ等に記載することでも可）．

11. データおよび資料の入手可能性

著者は論文に係る自分のデータや資料を補足資料（電子付録）として公開することができます．公開するデータセットは，査読の過程で編集委員と査読者が完全に利用できるようにしなければならず，論文の出版と同時に電子付録として公開されます．著者は，論文が本誌から出版された日から少なくとも 3 年間はデータを保存してください．また，本誌では，著者以外の個人あるいは団体などが，著者に対してデータ共有を求めた場合に，その要求に応じることを奨励しています．

12. セルフアーカイビング（グリーン OA）方針

著者は，日本作業療法士協会に許諾を得ることなく，セルフアーカイビング（グリーンオープンアクセス）として自身の論文の出版社版（J-STAGE に公開された PDF ファイル）を大学など公的機関の機関リポジトリに登録することができます．本誌では，出版（J-STAGE への公開）と同時に論文を機関リポジトリに登録することを許容しています．

13. 著作権，オープンアクセスと料金について

本誌は，完全オープンアクセスであり，クリエイティブ・コモンズ（CC）ライセンスを使用しています．このライセンスは，利用者が本誌から出版された論文を無償かつ著作権者また出版者や著者の承諾を得ることなく使用，再利用を許可するものです．CC ライセンスの詳細は以下の通りです．

1）著作権とライセンシング：著者（全著者が含まれます）は自身の論文の著作権を保持しますが，以下に詳述するクリエイティブ・コモンズ CC BY-SA 4.0 ライセンスの下で，一般社団法人日本作業療法士協会に対し本誌内での作品の複製を許可するために，「出版権の設定に係る同意書」に署名する必要があります．

2）CC BY-SA 4.0：本誌が 2025 年 4 月 15 日以降に受け付けた新規投稿はオープンアクセスです．著者はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス CC BY-SA 4.0（Attribution-ShareAlike 4.0 International）を自動的に選択することとします．このライセンスは，適切なクレジット（筆頭著者名など）を表示し，派生作品を元論文と同じライセンスで流通させる限りにおいて，営利／非営利を問わず論文の共有，翻案等の利用を許可するものです．助成機関によっては，助成を受けた論文を特定のクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの下で公開することを要求していることがあります．関連する助成機関への確認は，投稿する前に著者自身が各自の責任で行ってください．

3）論文掲載料（APC）ほか著者の負担：本誌に投稿するにあたり，筆頭著者は日本作業療法士協会の会員（作業療法士）であり当該年度（投稿時から掲載時）の会費を納めている必要があります．筆頭著者以外の共著者は他職種（非会員）であってもよいですが，作業療法士である場合には本会会員であり当該年度（投稿時から掲載時）の会費を納めていることが必要となります．本誌では，以下の APC の支払いが発生します．採択された原稿の著者には，必要に応じて出版前に APC の請求書が発行されます．

①筆頭著者が作業療法士であり会員の場合：（論文種別によらず）無料
②筆頭著者が他職種（非会員）の場合：（論文種別によらず）30,000 円
（「他職種筆頭著者申請書」を提出し受付可否の判断を仰いでください）
③本会からの執筆依頼原稿：無料

なお，投稿料は発生しませんが，「14. 掲載について」に記載するように，超過ページ分，カラー印刷ページ分の経費が著者負担となるほか，特急掲載を希望する場合は料金が発生します．

Presented by Medical*Online

14. 掲載について

論文の掲載は掲載可（受理）の日付順とします．ただし，**特急掲載**を希望する場合は，1 ページ 15,840 円×論文全ページ分の著者負担により，掲載可（受理）から掲載までの期間が最短になります．また，規定文字数を超過した論文は，査読審査で認められると掲載となりますが，掲載時の超過ページ数分の経費（1 ページ 15,840 円）は著者負担となります．

本誌の規定掲載ページ数（英語要旨を含む）：総説・原著論文；10 ページ，実践報告；8 ページ，短報；5 ページ

また，カラーページは実費にて著者の負担となります．

15. 校正について

著者校正は原則として 1 回とします．校正は赤字で行い，指定の期限内に返送してください．

16. エラータおよび論文の取り下げ

本誌は，掲載論文の科学的正確性および出版物としての信頼性を維持することの重要性を認識しており，必要に応じてエラータの発行または論文の取り下げの措置を講じるものとします．

1）エラータの発行

掲載論文に誤りが判明した場合，当該誤りが科学的公正性，著者の信頼性，または本誌の信用に重大な影響を及ぼすと判断されるときには，エラータを発行します．訂正を希望する著者は，担当編集委員または編集長に対し，誤りの内容および訂正内容の詳細を提出してください．著者間で訂正の内容に関して意見の一致が見られない場合には，その旨を付記してください．編集長が編集委員会または外部査読者に意見を求めることがあります．

2）論文の取り下げ

論文の結論が重大な誤りにより信頼できないと判断される場合，同一内容が他誌等に既に発表されている場合（重複投稿），研究倫理または出版倫理に関する重大な違反が確認される場合等において本誌は当該論文を取り下げます．論文の取り下げを求める者は，懸念の具体的な内容を編集委員会に提出することが推奨されます．編集長は必要に応じて調査を行い，著者に照会して意見を求めます．著者間で取り下げに関して意見が一致しない場合には，編集委員会または外部査読者の助言を得ることがあります．

3）最終判断

エラータの発行および論文の取り下げに関する最終的な判断は，編集長の裁量により行うものとします．

4）費用の請求

取り下げにかかる手続きに要する実費を編集委員会の判断により著者に請求する場合があります．費用および徴収方法については，編集委員会が該当著者に個別に通知します．

学術誌編集委員会事務局，Editorial Manager に関するお問い合わせ

E-mail　jotr_ed@capj.or.jp（学会誌刊行センター内 作業療法論文投稿システム担当）

＊作業療法 Editorial Manager に関しては，日本作業療法士協会ホームページ（https://www.jaot.or.jp/academic_journal/gakujutsushi/）をご覧ください．

執 筆 要 領（2024.6.15 改定，2026.4.15 更新）

1. **論文の構成**は，標題，著者情報，抄録（日本語・英語），キーワード（日本語・英語），本文と文献，図・表とします．
2. **カバーレター**を用意する必要があります．カバーレターの書き方は下記の 6 を参照してください．
3. 投稿時には，**論文種別**（原著論文，実践報告など），**標題**（日本語・英語），**著者名**（日本語・英語），**会員番号**（非会員は職種），**職種英文略称**，**著者全員のメールアドレス**，**所属機関名**（日本語・英語），**分野**，**キーワード**（日本語・英語．作業療法キーワード集にない日本語キーワードにはカッコを付けてください．英語キーワードはカッコ不要です），**利益相反**（COI），**助成金**（資金援助），**著者ごとの役割**（責任著者も明記），**謝辞**などの情報を登録する必要があります．なお，倫理上の配慮については下記の 9 を参照してください．
4. 抄録（要旨，日本語・英語）は，すべての論文に必要です．**日本語の抄録（要旨）**は 300 字以内，**英語の抄録（要旨）**は 100〜250 ワードとします．抄録（要旨）は，原則として，目的，方法，結果，結論が明らかになるように記述してください（特に「原著論文」の場合）．見出しを用いて記載する場合は，【　】を用いてください（例【目的】）．**英語の抄録（要旨）**は，著者の責任において，適正な英文原稿としてください．なお，掲載可（受理）となった論文は，英語を母国語とする人に英文の確認を依頼しますので，学術誌編集委員会の責任において，英文を変更することがあります．
5. **本文と文献は MS-Word** で作成し，**A4 サイズ横書き 40 字×40 行**（印刷の向きは縦）に書式設定し，行頭に**行番号**をつけフッターに**ページ番号**を挿入して，**文字サイズは 10.5 ポイント**，**書体は MS 明朝**としてください（日本作業療法士協会ホームページより「テンプレートファイル」がダウンロードできます）．**本文**は，原則として，目的，方法，結果，考察，結論が明らかになるように書いてください（特に「原著論文」の場合）．**文献**リストの書き方は下記の 11 を参照してください．本文中の**倫理審査**，**COI**，**謝辞**，**助成金情報**等の記載において，個人名や所属機関名等はブラインドにしてください（例　共同著者の A は B 株式会社と共同研究を行っており，旅費等の助成を受けている．）．最終的に掲載する

Presented by Medical*Online

正式な記載はEditorial Managerに登録してください.

6. カバーレターには，以下の①～⑦をMS-WordのA4サイズ横書き（文字サイズ・書体・書式は自由）で記載してください（日本作業療法士協会ホームページで「カバーレターサンプル」が参照できます）.

①投稿日，②論文標題，③論文種別（総説・原著論文・実践報告・短報のいずれか），④主要な研究結果とその重要性（投稿する研究結果がその分野の知識をどのように発展させられるのか），⑤作業療法の学術的発展に寄与する理由，⑥筆頭著者の氏名および連絡先（メールアドレス），⑦責任著者の氏名および連絡先（メールアドレス）.

7. 文章表現は以下の点に留意してください.

1）現代かなづかい・算用数字とし，国際単位系（SI単位）記号を用いてください（例：m, cm, mm, ml, kg, cm^2 など）.

2）外国人の人名は，原語で表記してください.

3）学術用語はできるだけ訳語を用い，必要なら（ ）内に原語を入れてください．日本語化していればカタカナとします.

4）本文中で複数回略語を使用する場合は，初出箇所で（以下，略語）のように明示してください.（例1　作業療法（以下，OT）　例2　作業療法（Occupational Therapy；以下，OT））

5）本文中の句読点は，全角のカンマ（,）とピリオド（.）を使用してください.

8. 生成AIの使用については「生成AI使用に関するガイドライン」に従ってください.

9. 倫理上の配慮について

1）論文として掲載される研究は，調査・研究の倫理的原則に従っている必要があります．著者は研究倫理教育を受けている必要があり，研究対象者の権利を尊重した表現を行う義務があります．学術誌編集委員会は，必要に応じて，これらの事項に関する証明を著者に求めることがあります（**筆頭著者は研究倫理教育を受けた証明の添付**が必須です）.

2）人を対象とする生命科学・医学系研究の場合，原則，所属機関等の**倫理審査**を受け，承認を得ている必要があります．承認を得た場合は倫理審査機関の正式名称および承認番号（ない時は承認年月日）をEditorial Managerに登録し，投稿原稿本文には機関名を伏せて倫理審査を受けたことを記載してください（例　A大学病院の倫理審査を受けて研究を実施した（承認番号123456））.

3）倫理審査機関が設置されていない場合は，倫理審査の代替手段として**所属施設（または部門）の責任者（共著者に含まれない者が望ましい）より，研究および投稿について文書による承認**を得て，その旨を本文中に記載（例　本投稿について，所属長より書面にて承認を得た）し，その文書を提出してください（書式は別紙参照）．また，**研究対象者へのインフォームド・コンセントの手続き**について，本文中に記載してください.

4）**個人情報保護**のため，対象者の入院施設等は施設名を記載せず，「A病院」等のブラインド記載，あるいは総合病院，精神科病院，介護老人保健施設等の名称で表現してください.

10. 引用・転載について

論文作成にあたっては，著作権についての配慮を行ってください．論文中に他の著作物からの引用を行う時には，出典を文献リストに記載し，その文献番号を該当箇所に明記してください．また，引用の範囲を超えた「転載」には，著作権者やその著作物の出版社の許諾が必要です．論文掲載に必要となる「転載」の手続きは，著者が責任を持つこととします.

11. 文献リストは引用文献のみとし，引用順に配列してください．著者は，5名までを記載して，6名以上は“，他”（または“, et al”）とし，表記の形式は下の記載例にならってください（雑誌名は正式な文献略称［海外誌はPubMedに準拠］で表記）.

和文誌の場合は，記号（カンマ，ピリオド）も含めて全角，英数字とページ数表記（例　pp.82-87）のみ半角としてください.

欧文誌の場合は，記号も含めてすべて半角としてください．下記の例以外は日本作業療法士協会ホームページで「文献リスト記載ガイド」を参照してください.

例1）【和文雑誌】　著者：論文タイトル．雑誌名 巻数（号数）：開始-終了ページ，発行年.

能登真一，村井千賀，竹内さをり，岩瀬義昭，中村春基：地域在住の要介護高齢者に対する「生活行為向上マネジメント」を用いた作業療法の効果―多施設共同ランダム化比較試験―．作業療法 33(3)：259-269，2014.

例2）【和文書籍】　著者：章タイトル．書籍の編者・編または監修者・監修，書名（巻数）版数，出版社，発行年，pp.（開始-終了ページ）またはp.（単ページ）.

澤田雄二：作業療法ガイドライン．日本作業療法士協会・監修，作業療法概論（作業療法学全書1）第3版，協同医書出版社，2010，pp.52-59.

例3）【欧文雑誌】　著者：論文タイトル. 雑誌名 巻数（号数）: 開始-終了ページ, 発行年.

Law M, Baptiste S, McColl M, Opzoomer A, Polatajko H, et al: The Canadian Occupational Performance Measure: An outcome measure for occupational therapy. Can J Occup Ther 57(2): 82-87, 1990.

例4）【欧文書籍】　著者：章タイトル．In 書籍の編者（ed または eds），書名（巻数）版数, 出版社, 発行都市, 発行年, pp.（開始-終了ページ）またはp.（単ページ）.

Reid J : Computer and occupational therapy. In Creek J（ed）, Occupational therapy and mental health, Churchill Livingstone, New York, 1990, pp.267-288.

Presented by Medical*Online

例 5)【翻訳された書籍】 著者（訳者・訳）：章タイトル．書籍の編者・編（監訳者・監訳）または監修者・監修，書名（巻数）版数，出版社，発行年，pp.（開始–終了ページ）または p.（単ページ）．
Schwartz K（清水一・訳）：身体障害への介入に見る歴史と実践の流れ．Pendleton HM, Schultz-Krohn W・編著（山口昇，宮前珠子・監訳），身体障害の作業療法 第 6 版，協同医書出版社，2014，pp.23–33.

例 6)【和文 Web ページ】 ページ作成者：ページタイトル．URL（参照 参照日）．
日本作業療法士協会：学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針．https://www.jaot.or.jp/academic_journal/gakujutsushi_rinri/（参照 2020–06–15）．

例 7)【欧文 Web ページ】 ページ作成者：ページタイトル．URL（accessed 参照日）．
World Federation of Occupational Therapists: About occupational therapy. https://wfot.org/about/about-occupational-therapy（accessed 2020–12–15）．

例 8)【発行前にオンライン公開された雑誌】 著者：論文タイトル．雑誌名，doi［published online ahead of print 公開日］．
Ceravolo MG, Arienti C, de Sire A, Andrenelli E, Negrini F, et al: Rehabilitation and Covid-19: The Cochrane Rehabilitation 2020 rapid living systematic review. Eur J Phys Rehabil Med, doi: 10.23736/S1973-9087.20.06501-6［published online ahead of print July 24, 2020］.

例 9)【オンラインジャーナル（Web 公開のみの雑誌）】著者：論文タイトル．雑誌名 巻数（号数）：Article ID，発行年，doi.
Nuño L, Guilera G, Coenen M, Rojo E, Gómez-Benito J, et al: Functioning in schizophrenia from the perspective of psychologists: A worldwide study. PLoS ONE 14(6): e0217936, 2019, doi: 10.1371/journal.pone.0217936.

12. 図・表は誌面の 1 ページ分を最大サイズ（165 mm×250 mm（本文と文献の 2,000 字分））として作成してください．次の点にも留意してください（日本作業療法士協会ホームページで「図・表作成ガイド」を参照してください）．

1）図は MS–Excel での作成を推奨します．**表は MS–Excel で作成しそのままアップロード**してください．
2）図・表の最小文字が 8 ポイント以下の場合，組版で拡大されることがあります．それにより規定掲載ページ超過となった場合は料金が発生します（投稿規定 10）．
3）**図は白黒**で鮮明なものを準備し，**そのまま製版することを想定した大きさ**で作成してください．
4）**写真**（図として扱う）は，カラー掲載しない場合には**白黒**とし，トリミングを工夫してください．
5）**図・表**はすべて番号とタイトルをつけ，必要があれば説明文も入れてください．番号・タイトル・説明文も図・表のサイズに含まれます．
6）本文中に図・表の挿入場所を記載してください（例：…の結果を図 1 に示す．または …の結果を示す（図 1）．など）．
7）引用・転載の図・表は，それぞれの出典を明記してください．
8）必要がない限り，表に縦線は使用しないでください．
9）表中で強調が必要な場合は下線，網掛け，枠で囲む，のいずれかの方法を用い，脚注へ説明を入れてください．
10）図のカラー印刷は，経費が自己負担となります（詳細は，学術誌編集委員会事務局へお問い合わせください）．

13. 修正投稿時は「査読者への回答」を添付してください．本文・表中での変更箇所は黄色ハイライトで明示してください（図は使用不可）．

Presented by Medical*Online